



(なんぷう)
南風

【題字】南
クワ初代理事長

発行所
鹿児島市田上八丁目
21番3号
学校法人 南学園
鹿児島医療福祉
専門学校
TEL (099) 281-9911

理事長 南 正義

皆さんは、NEWS（ニュース）と聞いてどんなことを思い浮かべますでしょうか？

中には、アイドルグループを思い浮かべる人もいるかもしれません

が、インターネットの検索エンジンGoogleでニュースと検索すると、マスメディアの最新ニュースがずらりと並びます。私が小学生の時、N（North）E（East）W（West）S（South）の頭文字と聞いた記憶があるNEWSの語源は、正しくはNewsからきた言葉だそうです。その複数形でnews。英国のオックスフォード大学にあるロイタージャーナリズム研究所では、二〇一二年から毎年デジタルニュースリポートという、世界のニュース事情が調査研究された内容を発表しております。日本を含めた四十六カ国でネットユーザーを対象に九万三千人以上、日本人はおよそ二千人をWeb調査したものです。世界と日本の傾向で大きな違いとしては、朝起きてから一番に接するニュースの媒体です。

海外では最も多いのがスマートフォンですが、日本では圧倒的にテレビが、朝のニュース媒体として君臨しています。その背景には、海外ではニュースに対する信頼度が低下傾向にある一方で、日本ではマスメディアの中でもテレビや新聞、ラジオのニュースの信頼度が高めと比較的高い、ということもあげられるかもしれません。周りの人に訊きますと、時計代わりにテレビを流しているという人も多いようです。とは言え、インターネットが一般的に普及して三十年が過ぎ、一週間におけるニュースの情報源としての媒体の比率で考

えますと、やはりSNSを含めたオンライン・ネットからのものが多い状況は、皆さんも想像されるところではないでしょうか。

昨今のネットでの翻訳機能の進化も目覚しく、特に英語の内容においては、翻訳した内容を手軽に、ほぼストレスなく見ることが可能となってきました。日本語で出ている情報の量に加えて他言語の情報にも気軽に接することが可能となり、情報発信も手軽に行えるネット社会においては、その情報の量は、莫大なものとなりました。この莫大な量の情報の中から選択できて自分の得たい情報に接することが出来る、非常に便利な世の中と言えるでしょう。一方で、このネット社会において、人間がそもそも陥りがちな傾向を知っておくことも大切です。

ローマ時代に活躍したユリウス・カエサルは、

「人は見たいものしか見ない。

人は望むものを信じたがる。」

という言葉を残したと言われています。誰しも自分の考えていることが正しいと、心の中では思いがちです。それを証明しようとした時に、考えた内容が正当であると思える情報に、無意識に目がいってしまふ。また、その情報を閲覧すると、同じ様な内容の情報が集められる、プログラムのアルゴリズム。今のネット社会においては、自分の意見を正当化する情報が簡単に集まってしまうのです。すると、自分の考えと異なる意見を目にする機会が減ることに加え、もともと人は自分と異なる意見を見ようとしないうことが重なり、自分と同じ意見に埋もれて自分の意

見が正しいものだと思いついて固まってしまう、そんな状況を作りやすい環境にいると言えます。自分が興味・関心を示すネットの情報を掲載している人を追っかけてく、誰かのフォローになっていく人は多いかと思えます。人はそもそも自分と似た趣向の人をフォローする傾向にあります。それは、自分が気に入った人の記事がすぐに確認でき、またその人が気に入っている他の人の記事も確認できる、非常に便利で楽しい機能です。自分と同じ様な意見の中にあると、居心地が良いと感じることもあるかもしれません。そんな現象を「エコーチェンバー現象」（似たような意見が共鳴している部屋ができる現象）と言います。その一方で、自分と異なった意見と触れ合う機会を失う傾向にあります。本来、凝り固まった意見に偏ることなく、情報は溢れており、様々な価値観や考え方に触れられる、異なる文化を知れるといったこともネットの素晴らしい点です。情報社会は、これからの益々発展し、利便性も更に向上していきます。そこには、利便性の裏側に、もともと人間が持っている傾向がどのように影響するのか、そういったことも認識した上で情報に接すると、見方や結果がより深いものとなっていくのではないのでしょうか。

本校では二年前に教職員全員で話し合い、アドミッシヨンポリシーに「多様性」という言葉を入れました。患者様、利用者様などの多様な考え方や価値観を尊重できること、これは医療福祉の専門職人にとって、大切な要素であると考えております。右でも述べましたが、エコーチェンバー現象というのは、とにかく居心地が良く感じてしまいがちです。しかし、自分とは異なった視点や様々な考え方に触れることは、その数倍ワクワク楽しいものです。この学生生活の中では、多様な価値観を知り、友人と多くを語り、自分の軸を育ててもらいたいと思えます。これからの実りの多き学生生活になるよう願っています。

自分と向き合う

「宣誓式」

十二月から始まる臨地実習を目前に控えた看護学科二年生の宣誓式が、十一月十一日に執り行われました。式では、一人ひとりがナイチンゲールの灯火を

気持ち忘れません。看護の本質を考えながら生命に対する高い倫理観を持ち、初心を忘れず看護の道を追求していくことを誓います。」と述べました。



決意を新たに

「戴帽式」

九月三十日、二年生三十五名が戴帽式の日を迎えました。保護者の方が見守る厳かな雰囲気の中、一人ずつ山口学科長より

明るさを持った歯科衛生士になることをここに誓います。」と決意を述べました。

ナースキャップを戴き、キャンドルを手にしたその表情は、喜びや感動、決意など実に様々な気持ちで溢れていました。

戴帽生三十五名を代表して藤田綾香さんが「二年生になり長期実習が始まります。一年生の実習とは求められるものが違ってくると思います。」「私たちは決して一人ではありません。三十五人の仲間と様々な困難を乗り越え、笑顔を忘れず元気で前向きな姿で高い知識と技術、



心耳

コロナに負けない
未来の為に

ふれんどみなみ

施設長 有里 輝秀

コロナ禍の恐怖にさらされた生活がいつまで続くのだろうか。日常生活は勿論、実習生の学生生活にもまだまだ影響が出て

いる状況です。施設の職員や利用者の方々も不安な日々を過ごしておられる事でしょう。

日本の核家族率八十七%の現在、密を避ける為の規制によりコミュニケーションが取り辛く、お子さん、お孫さんに会う事も叶わず寂しい思いを感じている高齢者の方々もたくさんいらっしゃると思います。しかし南学園だからこそ可能なコミュニケーション作りがあると私は思います。

利用者とは、自分の孫と同じ世代の学生とのふれあいが、心にも身体にも良い刺激を与え、笑顔で居る時間が増えて笑顔の連鎖を生みます。学生達も同じく、会えない祖父母を思いながら利用者の笑顔に元気を貰う事でしょう。

こういう時代だからこそ、一人でも多くの学生と利用者との出会い、ふれあいの場を作るべく尽力したいと思う次第です。その為に大切な事は、感染予防の徹底です。今は誰が感染してもおかしくない状況ですが、社会全体として規制が緩和されつつあります。油断せず自己管理に努め、明るく強い気持ちで一緒にコロナ禍を乗り越えましょう。マスク無しで会話できる日が早く来て欲しいと願っています。



非常勤講師 石場 俊 秋

「福祉は人だ」という言葉を聞いたことがある。

福祉の「ふ」の字も知らずに障害福祉の世界に飛び込んだ私は、福祉は人だ、人柄だけでやっていけるはずだと、先輩たちの見よう見まねで無我夢中で支援に努めた。入職して程なくして、利用者との関係もそれなりに築き、かわりの中ですぐに「天職に出会えた、資格なんてなくてもやっていける」と少々浮かれていたかもしれない。半年経った頃、とある利用者に対応していた際に大きな出来事があった。あくまで私の中の「大きな」であるが、それは、私の専門性のなさで起きてしまったことだった。失意の中、ふと事務所の本棚の文献を開くと、その障害特性への対応方法というより基本的視点が載っていた。ひどく落ち込んだ。無知な自分、知ろうとしなかった自分を恥じた。

介護は誰でも出来る仕事、というイメージを持つ方もいると聞く。私自身もあるいはそうであつたかもしれない。この出来事をきっかけに専門性を身に着けることを課題とし、その一つの志向として資格取得を目指した。その後、曲がりなりにも二十数年、この天職に従事する

ことが出来、県障害福祉人材育成研修や所属事業所の運営にも携わっている。

そんな私であるから、若くして福祉を志してくれた学生には「ようこそ」を通り越して、「ありがとう」の感謝に近い気持ちがある。毎回、初回の授業では志望動機を聞く。多くの学生が、ご家族の介護体験、あるいはそれを通しての専門職との出会い、だ。言うまでもなく、もはや介護は他人ごとではないし、そこで働く専門職の活躍も社会への啓発のひとつとして重要だ。福祉・介護に対してエッセンシャルワークとしながら、一方でネガティブイメージをいつまでも払しょくできない現状は、社会全体で変えていかなければならない。

福祉の福と祉という漢字は、いずれも「幸せ」という意味を持つと聞く。また、とある研修で、福祉の仕事は「人間らしいやりがいのある仕事」と、ディセンソワークをなぞらえた表現を聞いたことがある。人の幸せを支える仕事。こんなやりがいは他業種には中々ないだろう。学生には「おめでとう」と伝えたい。

「福祉は人だ」と改めて思う。そう言えるよう、私自身、知識と技術と価値観を高めていくことを続けなければならない。人の幸せを支える専門職を目指す学生たちにもそんなことを期待しながら、今夜も明日の授業の準備に取り組む。

専門学校体育大会が 開催！

3年ぶりに開催された大会では、本校学生が大いに活躍しました。参加した学生3人の声と、大会結果を紹介します。

第41回 九州ブロック専門学校体育大会 鹿児島大会 結果

優勝	サッカー
	テニス男子団体
	テニス男子個人 山本 滯
準優勝	バレーボール男子
3 位	バレーボール女子



専体連に参加して
看護学科一年 重松 沙弥

私は、専体連にバレーボールのメンバーとして参加しました。久しぶりの試合ということもあり緊張しましたが、スポーツの楽しさを改めて実感しました。その一つが、メンバーとの助け合いです。メンバーの中には初心者もいましたが、丁寧に声をかけサポートすることで、みんなが楽しめるよう心掛けました。また、試合中に「ナイス」や「ドンマイ」と、お互いを支え合う言葉がよく出ることも、スポーツの良いところだと思います。



看護学科での学習は、学ぶことが多く大変です。今回専体連に参加したことで、私が今頑張っているのは、一緒に学ぶ友人在るからだと再確認することができました。スポーツと同じように、学習に於いてもみんなを支え合いながら、看護師という目標に向かって頑張っていきたいと思います。



専体連に参加して
理学療法学科二年 西 元暉

先日行われた専門学校サッカー選手権大会で、私達は優勝することができました。学業でもお互い切磋琢磨しあえる関係だったからこそ、サッカーでも全員が同じ目的を持って練習に取り組めたことが優勝できた一つの要因だと思います。また、サッカーを通して学年問わず友好関係を深めることができました。

専体連に参加して
理学療法学科一年 山本 滯

僕にとって専体連は初めての経験でした。二年間開催されていみせんでしたが、今年は開催することができて、大会の運営に携わってくれた人々や各校の先生に感謝し、一生懸命プレーしようと思っていました。

実際に参加してみて、仲間と一緒にプレーする楽しさやポイントポイントに繰り広げられる攻防の中、集中して最後まで諦めないことを心がけた結果、団体戦・個人戦共に優勝という最高の結果を残すことができました。

普段の学校生活では、他校の学生たちと切磋琢磨する機会があまりないので、この経験を大事にしたいと思いました。

これから、二年生、三年生になるにあたって、実習や勉強など大変なことが多くありますが、ひとつひとつの課題を諦めずに克服し、教室の友達と切磋琢磨しながら乗り越えていきたいです。

オープンキャンパスで 学生が大活躍!!

今年度に入り、既に8回のオープンキャンパスが開催され、高校生を初め多くの方々に参加いただきました。
オープンキャンパスには本校の学生も参加し、体験学習や質疑応答を通して本校の魅力を伝えています。
参加した学生は何を伝え、何を感じたのか。学生の声を紹介いたします。

オープンキャンパスを通して感じたこと



看護学科一年

川内優紀江

私は九月二十四日に行われたオープンキャンパスで、参加者向けに体験発表を行いました。参加者からの質問に答えたり自分の経験を伝えたりする中で、参加者の緊張の様子から期待や不安を感じることができました。高校生の頃の私も先輩方の目にはこのように写っていたのかと思うと、とても新鮮な気持ちになりました。

先輩方が担当している体験学習の場では、参加者の方々は初めての体験に少し戸惑いながらも、興味深そうに真剣に取り組んでいました。その時は、先輩方が参加者の方々にとても分かりやすく説明をしている様子を見て、

「私も一年後には先輩方のようになれているだろうか。いや、なりたい。」

と、新しい目標を見つけることができました。先輩方のようにするために、勉学に励もうと意気込む良い機会になりました。

私は今回のオープンキャンパスに参加し

て、本校に入学した頃の初心を思い出し、看護に対する関心がより深まりました。これまでの学習をしっかり定着させ、学んだことを他者に分かりやすく説明できるように努力していきます。



伝える力



歯科衛生学科三年

岡崎 萌恵

私は今までに数回、オープンキャンパスに参加する機会がありました。私は人

見知りがあり、人前で話をしたり初めての人と話したりする時は緊張してしまいます。しかし毎回参加する前には、高校生にどうい話をしたら歯科衛生士に興味をもってもらえるかを考えました。そのためには、歯科衛生士の魅力を伝えるための力が必要であると気付くと同時に、その力は今の私に足りないものであり、そして一番身に付けなければならないのだと実感しました。

私が目指している歯科衛生士は、患者様と接する時間が一番長く、専門用語を知らない患者様の曖昧な訴えを的確に判断して対応する力や、歯科医師やスタッフと確実に意思疎通する力が求められます。そのためコミュニケーション能力を身に付けることがとても大切になります。

オープンキャンパスでは初対面の人と話をする機会があり、自分の思いや相手の思いを知ることができ、伝える力を身に付ける良い機会になりました。自分に足りない力を身に付けることは時間がかかると思いますが、そのため、このような機会が今後あれば積極的に参加し、自分の力に変えていけるようにしていきます。



オープンキャンパスに参加して



理学療学科一年

内野麻里奈

私は五月十四日に行われたオープンキャンパスに在校生として参加しました。

私の在籍する理学療学科のオープンキャンパスでは車いす体験やストレッチ、パラフィンやレッドコートなどの理学療法体験を行いました。私はその中でもストレッチコナーを担当しました。入学してから約一か月しか経っておらず、不安でいっぱいだったのですが、自分が実際に参加したオープンキャンパスでの先輩方を思い出しながら参加者と接することが出来ました。また、参加者との質疑応答の時間もあり、入学してからの一か月の間で感じたことや学校の雰囲気など、参加者からの質問に沢山答えることができた、自分の課された役目をしっかりと果たすことが出来ました。

今回のオープンキャンパスに参加して、まずは理学療法の基礎をしっかりと定着させ、知識を蓄えていかなければならないとより実感しました。今後、実習や臨床の現場で患者様を不安にさせないためにも、リハビリテーションをする立場である以上、しっかりと知識を持つていなければなりません。そのため今の私に出来ることは授業の予習や復習をしっかりとすることだと改めて思いました。

オープンキャンパスを通して、理学療法に対する関心が更に高まりました。参加して感じたことを忘れず、国家試験合格に向けて努力し、立派な理学療法士になりたいと思います。



オープンキャンパスに参加して



介護福祉学科二年

大毛 陸生

オープンキャンパスのサポートをする学生として参

加しました。最初はしっかりと説明できるのかという不安から緊張してうまく話すことができませんでした。が、介護に興味を持ってもらいたい、そして、同じ学び舎で介護福祉士を目指すという思いを持って臨みました。

車いすの介助体験をしながら、参加者として介護に興味を持ったのかなどについてコミュニケーションを図りました。様々な考えに触れることができ、見分が広がり、私が入学した時の気持ちや今の考えを見つめなおす良い機会となりました。

また、車いすの操作について誤った使用方法を伝えなかったために、事前に復習を行うなど責任感も生まれ、学生生活を送るうえでいい刺激となりました。

オープンキャンパスに参加することで介護福祉士を目指す学生とはどのようなものか知って頂き、進路決定の選択肢の一つとして介護福祉に触れる機会を持ち、興味を示していただけたらいいなと思います。



3年ぶりに復活！

学園祭開催！！

新型コロナウイルスの影響が落ち着いたことで、無事学園祭を開催することができました。久しぶりのイベント開催ということもあり、校内は学生たちの楽しい表情と声で溢れかえりました。

学園祭実行委員長
理学療法学科二年 中村 和貴

三年ぶりに開催された今年の学園祭は、各学科の体験ブースや屋外のキッチンカーが好評で、大きなトラブルもなく盛況のうちに終了しました。さらに、新しい試みとしてオープンキャンパスも同日開催されたことにより、高校生や保護者の方々の姿も見ることができ、例年とは一味違う学園祭になりました。

私達理学療法学科はマッサージ体験や物理療法体験等を行い、在校生はもちろん来客の方も多く来て頂きました。特に、

評価実習を控えた二年生にとっては、患者様とのコミュニケーションを取る練習にもなり、大変貴重な経験となりました。

看護学科ではバイタル測定や人形を使つての滅菌体験など、日常生活において関わる機会が少ないものを実際に体験することができました。

歯科衛生学科ではブラッシングや歯型をとる体験を行いました。自分自身の磨き残しに気づくことができ、型取り体験は初めて見るものだったので短時間で綺麗に固まるのに驚きました。

介護福祉学科では車いす体験やゲーゴル体験を行っていました。日頃私達も車いすを扱っているので復習も兼ねて体験ができ、改めて車椅子について確認ができました。ゲーゴル体験はゲーム感覚で楽しむことができ、大変盛り上がり 있었습니다。

すべての学科ブースが大盛況で、体験されている方も学生側もお互いが楽しんでいる姿を見て、私自身も大変嬉しい気持ちになりました。

今回の学園祭を成功させ無事に終わることができたのは、当日のみならず、準備から本番まで取り組んだ実行委員をはじめ、各学科、先生方、キッチンカースタッフの皆様のおかげです。ご協力頂いた皆様に、心よりお礼申し上げます。この学園祭を機に学科の垣根を越えて、学生間の交流と団結が一層深まることを祈念しております。

放送大学との連携で学士の取得も可能

放送大学のメリット

①将来を見据えた学習…

②幅広い知識の習得……

③安価な学費……

受講生の声

私がWスクールでの学習を通して感じていることは、時間を有効活用することの大切さです。他の学生と比べ、学習することが多いため、計画性を持ち、隙間時間を利用しながら勉学に励んでいます。また、学校の授業と重なる科目やより専門的な科目もあるため、理解を深めたり教養を広げたり出来るのがWスクールならではのいいところだと感じています。

看護学科3年 小山田 愛

社会人入学生に朗報！
「専門実践教育訓練の教育訓練給付金」制度
厚生労働省が本校3学科を認定

厚生労働省により、助産学科・理学療法学科・介護福祉学科が教育訓練（専門実践教育訓練）給付制度の対象講座に指定されています。（歯科衛生学科は令和4年10月に申請済）

この制度は、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者、または被保険者だった方が講座を受講し修了した場合、本校に支払った一部経費の70%（最大168万円）をハローワークから支給される制度です。

さらに、一定の条件を満たした方には受講を支援するため、基本手当日額の80%に相当する額が支援給付金として支援されます。

詳細については最寄のハローワークにお問合せください。

教育訓練給付金
3年間で上限 168 万円

+

教育訓練支援給付金
雇用保険の基本手当日額の
最大 80%

※上記の内容は2020年度のものとなります。詳しくはハローワークにお問合せください。

入学試験日程

◆看護学科・歯科衛生学科・理学療法学科・介護福祉学科

募集学科	看護学科	歯科衛生学科	理学療法学科	介護福祉学科
入学定員	80人(男・女)	40人(男・女)	80人(男・女)	40人(男・女)
修学年限	3年	3年	3年	2年

入試区分	試験日
一般3次	2023年2月4日(土)
一般4次	2023年3月4日(土)
一般5次	2023年3月22日(水)

本校は高等教育の修学支援新制度の対象校
学びたい気持ちを応援します。

授業料等

授業料・入学金の
免除／減額

+

給付型
奨学金の
支給

=

実質
0円

看護学科1年生の一例（非課税世帯の場合）（入学金・授業料・実習費・施設整備費含む）

Instagram

本校の日常の様子を掲載しています。こちらからフォローはしませんので、お気軽にフォローしてください。

公式 LINE

気になることや分からないことなど、お気軽にご相談ください。イベント情報などの案内も月間2回ほど行っています。

オープンキャンパス案内
3月25日開催！

検索

参加者への特典もご用意しています。